

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

観光・交流施設と地域資源ネットワークによる交流人口拡大プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

南丹市

3 地域再生計画の区域

南丹市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、年間 57 百万人が訪れる世界の観光都市「京都市」に隣接する地理的環境があり、観光施策と京野菜などの農産物の生産地として都市と農村部の交流に取り組んでいる。市の地域創生戦略においても「市への人の流れを増幅させる」と目標を掲げ、観光・交流の拡大に向けた魅力の創出に積極的に取り組んでおり、これまでも先行型交付金では農林水産業の 6 次産業化や着地型観光等に取り組み、加速化交付金では地域資源を活かした観光・交流人口の拡大を図るためのイベントや周遊性のある観光基盤の整備を行い、推進交付金でも道の駅を題材にしてマーケティングと商品開発ができる主に女性の人材の育成と、ICTを活用した観光周遊の拡大に取り組んできている。

本年には、京都丹波高原国定公園の指定や全国育樹祭の開催など全国から認知されるきっかけとなる条件が整い、観光から波及する「しごと」づくりによる地方創生を加速させるものとする。

こうした状況の中、これまで取り組みを進めてきた地域資源を活かした商品開発、人材育成、イベント、ICTの活用などの個々の事業による効果を最大限に発揮するために、それらをつなぎ観光客・訪問者を周遊させる観光・交流の拠点施設が必要であり、その拠点施設となり得るのが市内に3か所ある道の駅と都市と農村の交流施設である。

ソフト事業と観光・交流に関する施設の整備と充実により、拠点となる道の駅などと、特産品販売、農業体験のネットワーク形成を図り、最大限の交流人口の拡大により、地域経済全体の底上げを目指すため、各拠点施設が拠点として交流人口の拡大が図れる機能を充実させ、自らも人を呼びこめる施設として機能を果たし、各施設並びに地域を周遊させ、地域経済全体の底上げを図ることを目的とするものである。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
拠点施設農 産物等売上 額	130,052千円 内訳 ①99,893千円 ②25,497千円 ③4,662千円	5,982千円 内訳 ①4,595千円 ②1,173千円 ③214千円	5,982千円 内訳 ①4,595千円 ②1,173千円 ③214千円	11,965千円 内訳 ①9,190千円 ②2,346千円 ③429千円
拠点施設観 光消費額	553,126千円 内訳 ①223,288千円 ②325,150千円 ③4,688千円	4,425千円 内訳 ①1,786千円 ②2,601千円 ③38千円	4,425千円 内訳 ①1,786千円 ②2,601千円 ③38千円	8,685千円 内訳 ①3,506千円 ②5,105千円 ③74千円
拠点施設観 光入込客数	612,711人 内訳 ①162,768人 ②437,384人 ③12,559人	4,901人 内訳 ①1,302人 ②3,499人 ③100人	4,901人 内訳 ①1,302人 ②3,499人 ③100人	9,619人 内訳 ①2,555人 ②6,867人 ③197人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
拠点施設農 産物等売上 額	11,965千円 内訳 ①9,190千円 ②2,346千円 ③429千円	11,965千円 内訳 ①9,190千円 ②2,346千円 ③429千円	47,859千円 内訳 ①36,760千円 ②9,384千円 ③1,715千円
拠点施設観 光消費額	8,685千円 内訳 ①3,506千円 ②5,105千円 ③74千円	8,685千円 内訳 ①3,506千円 ②5,105千円 ③74千円	34,905千円 内訳 ①14,090千円 ②20,517千円 ③298千円
拠点施設観 光入込客数	9,619人 内訳 ①2,555人	9,619人 内訳 ①2,555人	38,659人 内訳 ①10,269人

	②6,867人 ③197人	②6,867人 ③197人	②27,599人 ③791人
--	------------------	------------------	-------------------

※①道の駅京都新光悦村の農産加工所

②スプリングスひよしの農産物直売所

③八木農村環境公園氷室の郷のレストランテラス

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本事業では、観光・交流に関する施設の整備と充実として、①道の駅京都新光悦村の農産加工所の増築、②スプリングスひよしの農産物直売所の増築、③八木農村環境公園氷室の郷のレストランテラスの増築を行い、拠点となる道の駅などと、特産品販売、農業体験のネットワーク形成を図り、交流人口の拡大を図る事業である。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

南丹市

② 事業の名称：観光・交流施設と地域資源ネットワークによる交流人口 拡大事業

③ 事業の内容

南丹市地域創生戦略では「南丹市への人の流れを増幅させる」として「観光・交流の拡大に向けた魅力の創出」に取り組み、これまでから、加速化交付金で、地域資源を活かした仕事づくり、推進交付金では、マーケティングと商品開発ができる人材の育成とICT活用による観光周遊の拡大に取り組んでいる。

本事業では、観光・交流に関する施設の整備と充実として、①道の駅京都新光悦村の農産加工所の増築、②スプリングスひよしの農産物直売所の増築、③八木農村環境公園氷室の郷のレストランテラスの増築を行い、拠点となる道の駅などと、特産品販売、農業体験のネットワーク形成を図り、交流人口の拡大を図るもの。

各施設間のネットワークについては、①道の駅京都新光悦村と②スプリングスひよしが参画している「南丹市道の駅連絡協議会」に③八木農村環境公園氷室の郷がオブザーバーとして参画し、交流人口の拡大につ

いて、常に連携した取り組みを行うことで形成することができる。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

各施設が実施する農産物の加工・調理の体験メニューや、レシピ紹介、品質の良い農産物や新たな加工品の販売などの展開により売上増加、収益増加を図り収益施設として利益の出る事業展開を図る。

【官民協働】

市内にとどまらず、京都府内近隣市町と構成する「森の京都DMO」及び市内の「美山DMO」との連携により、交流人口拡大に向けたPRと集客を行い、観光産業による地域経済の循環の実現に向けた事業を展開する。

【政策間連携】

拠点となる道の駅及び都市と農村の交流施設と地域資源を活用した商品開発、人材育成、イベント実施、ICT活用、特産品販売、農業体験、宿泊施設のネットワークを形成することにより交流人口の拡大を図る。

推進交付金の人材育成事業で生みだした開発した商品の拠点施設での販売を行う。

市内に点在する農産加工グループの後継者育成につなげて、市内での継続した農産加工体制を構築する。

【地域間連携】

南丹市、福知山市、綾部市、亀岡市、京丹波町、京都市右京区京北で構成する「森の京都DMO」、京都府が設置予定の京都丹波高原国定公園ビジターセンターとの連携により、観光客並びに訪問者の周遊性とリピート性の向上による域内滞在時間の長期化や交流人口増加、観光消費額の拡大に向けた取り組みを展開する。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
拠点施設農 産物等売上	130,052千円 内訳	5,982千円 内訳	5,982千円 内訳	11,965千円 内訳

額	①99,893千円 ②25,497千円 ③4,662千円	①4,595千円 ②1,173千円 ③214千円	①4,595千円 ②1,173千円 ③214千円	①9,190千円 ②2,346千円 ③429千円
拠点施設観光消費額	553,126千円 内訳 ①223,288千円 ②325,150千円 ③4,688千円	4,425千円 内訳 ①1,786千円 ②2,601千円 ③38千円	4,425千円 内訳 ①1,786千円 ②2,601千円 ③38千円	8,685千円 内訳 ①3,506千円 ②5,105千円 ③74千円
拠点施設観光入込客数	612,711人 内訳 ①162,768人 ②437,384人 ③12,559人	4,901人 内訳 ①1,302人 ②3,499人 ③100人	4,901人 内訳 ①1,302人 ②3,499人 ③100人	9,619人 内訳 ①2,555人 ②6,867人 ③197人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
拠点施設農産物等売上額	11,965千円 内訳 ①9,190千円 ②2,346千円 ③429千円	11,965千円 内訳 ①9,190千円 ②2,346千円 ③429千円	47,859千円 内訳 ①36,760千円 ②9,384千円 ③1,715千円
拠点施設観光消費額	8,685千円 内訳 ①3,506千円 ②5,105千円 ③74千円	8,685千円 内訳 ①3,506千円 ②5,105千円 ③74千円	34,905千円 内訳 ①14,090千円 ②20,517千円 ③298千円
拠点施設観光入込客数	9,619人 内訳 ①2,555人 ②6,867人 ③197人	9,619人 内訳 ①2,555人 ②6,867人 ③197人	38,659人 内訳 ①10,269人 ②27,599人 ③791人

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を企画政策部定住・企画戦略課が取りまとめて、地域創生会議を構成する有識者や議会の関与を得ながら

検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果はホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 117,720千円

(内訳①86,360千円、②11,200千円、③20,160千円)

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（5ヵ年度）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1)観光・交流施設と地域資源ネットワークによる交流人口拡大事業

事業概要:拠点施設を活用して、特産品販売、農業体験のネットワーク形成を図り、交流人口の拡大を図るもの。

実施主体:京都府南丹市

事業期間:平成30年度～平成32年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

外部組織の参画する南丹市地域創生会議により KPI に対する単年度ごとの達成度をもとに検証を行う。未達の場合については、事業の見直しや変更を行う。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
--	----------------	-----------------	-----------------	-----------------

拠点施設農 産物等売上 額	130,052千円 内訳 ①99,893千円 ②25,497千円 ③4,662千円	5,982千円 内訳 ①4,595千円 ②1,173千円 ③214千円	5,982千円 内訳 ①4,595千円 ②1,173千円 ③214千円	11,965千円 内訳 ①9,190千円 ②2,346千円 ③429千円
拠点施設観 光消費額	553,126千円 内訳 ①223,288千円 ②325,150千円 ③4,688千円	4,425千円 内訳 ①1,786千円 ②2,601千円 ③38千円	4,425千円 内訳 ①1,786千円 ②2,601千円 ③38千円	8,685千円 内訳 ①3,506千円 ②5,105千円 ③74千円
拠点施設観 光入込客数	612,711人 内訳 ①162,768人 ②437,384人 ③12,559人	4,901人 内訳 ①1,302人 ②3,499人 ③100人	4,901人 内訳 ①1,302人 ②3,499人 ③100人	9,619人 内訳 ①2,555人 ②6,867人 ③197人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
拠点施設農 産物等売上 額	11,965千円 内訳 ①9,190千円 ②2,346千円 ③429千円	11,965千円 内訳 ①9,190千円 ②2,346千円 ③429千円	47,859千円 内訳 ①36,760千円 ②9,384千円 ③1,715千円
拠点施設観 光消費額	8,685千円 内訳 ①3,506千円 ②5,105千円 ③74千円	8,685千円 内訳 ①3,506千円 ②5,105千円 ③74千円	34,905千円 内訳 ①14,090千円 ②20,517千円 ③298千円
拠点施設観 光入込客数	9,619人 内訳 ①2,555人 ②6,867人 ③197人	9,619人 内訳 ①2,555人 ②6,867人 ③197人	38,659人 内訳 ①10,269人 ②27,599人 ③791人

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、3月末時点の KPI の達成状況を検証し、結果はホームページで公表する。